

熊本 S.J.C.D.例会 抄録

演 題 ブラキシズムを伴うガミースマイルへの対処法

演者名 小坪義博

日 付 2010年10月26日

keywords

1. ブラキシズムによる歯周組織の破壊
2. ハイスマイルへの補綴アプローチ
3. 咬合のコントロール

抄録

我々の行う修復治療に於いて、常に伴うリスクは補綴物の崩壊である。術前の診査・診断を入念にし、あらゆるシミュレーションをして最終補綴物を作り上げたとしても、そのリスクは付きまとう。特に審美性を追求して行く場合の補綴物の選択は、メタルよりも強度的に劣る場合が多いので、なおさらである。その主な原因と考えられるのは、パラファンクションである。ブラキシズムは、歯周病に罹患している患者では、その悪化にも影響を及ぼす。無意識下に行われるブラキシズムは、臨床における最大の問題点である事は間違いない。これを、どうコントロールして上手く付き合っていくかで、修復治療の予知性は大きく左右される。今回、アンテリアガイドの欠如による歯牙への過大な側方圧により、歯周組織の破壊を招いたケースへの対処法と、ガミースマイルへのアプローチを提示させて頂き検証致します。